



学校図書館だより

10月号

令和5年10月
柏市立柏中学校
学校図書館

いわし雲おおいなる瀬をさかのぼる 飯田蛇笏 (春蘭より)

10月になりました。日が暮れるのが早くなり、朝晩は少し涼しくなりましたね。何をするにも快適な季節です。今月は読書週間が始まります。自分のペースで、読書を楽しんでください。学校図書館でお待ちしています。



秋の夜長に読みたい本があるという幸せ・・・



私のペースで
しおりは進む
2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



今月、27日から読書週間が始まります。1947年、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」という決意のもと、第1回読書週間が開催されました。公募により選ばれた今年のテーマは、「私のペースでしおりは進む」です。



《今月のおすすめ》

いろいろな秋にふさわしい作品を紹介します。どの作品も読みごたえ十分。虫の声を聴きながら、本の世界にひたってください。

スポーツの秋に

『タスキメシ』

額賀 滯 著 小学館 (NDC913)



将来有望な長距離選手が一転、料理男子に!?ケガを理由に部活動から遠ざかりつつある高校生早馬。自分の道を探してもがく姿と早馬に抱く仲間たちの複雑な思いが、繊細に描かれます。きれいごとで終わらないラストは、作者額賀滯さんの魅力の一つです。

スポーツの秋に

『武士道シックスティーン』

誉田 哲也 著 文藝春秋 (NDC913)



青春を剣道にかける女子高校生の物語です。中学最後の大会で、無名だった早苗に敗れた剣道エリートの香織。同じ高校に進学した二人は、剣道部で再会することになります。敗北を忘れない香織とおっとりした早苗の掛け合いが楽しい3部作(セブントーン・エイティーン)です。

芸術の秋に

『楽園のカンヴァス』

原田 マハ 著 新潮社 (NDC913)

学芸員ブラウンが、富豪の家で目にしたのはアンリ・ルソー最後の大作「夢」。これは本物なのか。真贋(しんがん)を判定するための調査は、天才画家が生涯抱えた思わぬ秘密にたどり着く。絵画の知識がなくても大丈夫。美術館に行きたくなるような絵画ミステリーです。山本周五郎賞受賞。
※ルソーの「夢」は図書館の本で観られます。

芸術の秋に

『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸 著 幻冬社 (NDC913)



ピアノコンクールを舞台に、才能に恵まれた人演奏環境に恵まれた人 ピアノへの思いをあきらめられない人 出場者たちそれぞれの心情を描きます。作品中で主人公たちが奏でるピアノ演奏を、文章で表現する場面をぜひ堪能してください。第156回直木賞も受賞しています。

食欲の秋に

『和菓子のアン』

坂木 司 著 光文社 (NDC913)



デパ地下の和菓子屋で働く杏子。同僚やお客さんにふりまわされながらも、つつられていく心温まる毎日と、杏子の可愛らしい性格にほっこりします。和菓子のマメ知識も満載です。

借りたままになっている本はありませんか？次に借りたい人が待っています。すぐに返却してください。